

9:00	講座開始	
A	生活綴方の理論と実践 生活綴方の理論と実践から、いま何を学ぶか ～コロナ禍の学校で子どもの生活を深くつかむために～	福井 雅英 (滋賀県立大学)
B	作文・日記指導を豊かに 傍らによりそう ～子どもの自己表現と教師の立ち位置について～	和田 禎二 (島根)
C	児童詩教育のすすめ 詩が助けてくれた ～出会った子どもたちと詩の魅力～	森 朋子 (東京)
D	障害児のこぼれを豊かにほぐす ～読みとけば見えてくる 子どもたちのねがいと発達～	熊本 勝重 (龍谷大学・追手門学院大学)
E	GIGA スクール構想で 子どもは？学校は？ ～大阪の教育にもふれながら～	山口 隆 (大阪教育文化センター)
F	夜間中学の歴史と現在 ～生活記録・作文学習の系譜を中心に～	江口 怜 (和歌山信愛大学)
G	絵本講座 ～絵本が子どもに届けるもの～	鈴木 健司 (よみかぜボランティアグループ三丁目)
H	不登校問題 ～どの子ども自分の力で立ち上がり歩き出す～	甲斐 真知子 (おおさか教育相談研究所)
I	作文の読み方、見方、感じ方 ～ここに子どもの成長がある～	片桐 理 (大阪国語教育連盟・大阪綴方の会)
J	学校上げて生活綴方に取り組む ～綴り、読み合い、互いに人として育ち合う子どもと教師と親～	勝村 謙司 (大阪綴方の会)
K	子どもを真ん中に保護者と手をつなぐ	土佐 いく子 (和歌山大学)
L	生活綴方・作文教育の歴史に学ぶ	川地 亜弥子 (神戸大学大学院)
12:00	講座終了	
13:20	閉会全体会	
13:30	絵本ライブ 長谷川 義史 さん 「子どもたちの未来へ」 ～いいから いいから ありのまま～ 大阪府生まれ。絵本作家、画家、イラストレーター 『いいから いいから』シリーズ(絵本館)、『おへそのあな』(BL出版)、『串かつやよしこさん』(アリス館)、ゆかいな牧場のメロデーに合せて歌う『大阪うまいものうた』(佼成出版社)、室井滋さんとのコラボ作『会いたくて 会いたくて』(小学館)等々多数の作品を発表。2005年に『いろはにほへと』(BL出版)で日本絵本賞を受賞。2008年に『ぼくがラーメンたべてるとき』(教育画劇)で日本絵本賞、小学館児童出版文化賞を受賞するなど数々の賞を受賞。 トークや絵本の読み聞かせ、ウクレレ演奏など盛りだくさんの内容でご講演いただきます！お子さんと一緒に楽しめます！	
15:00	閉会集会 2023年大会 宮城より	
15:20	散会	



保育について 7日は保育をします。3～12歳まで、お子さん一人半日500円です。午前・午後とも保育はありますが、昼食は保護者の方と食べてください。おやつや水分はご持参ください。
 *感染状況により、実施しないことがあります。*申込制です。日本作文の会 HP をご覧ください。
会場参加の方へ マスク着用、入場の際しての手指の消毒と検温をお願いします。発熱がある場合は入場をお断りすることがあります。堺市産業振興センターのホールは飲食禁止です。

すべての子どもに 生活に根ざした表現と 生きる力を

第70回 全国作文教育研究大会

2022年 大阪大会

広がれ!綴方の輪
～くらしを綴り、読み合い、
育ち合う作文教育～

8/6(土) 全体会
堺市産業振興センター
8/7(日) 分科会
堺市立中百舌鳥小学校
8/8(月) 講座・閉会集会
堺市産業振興センター等

全国大会開催について

今年の大会は、コロナ禍による感染症予防の観点から、大会開催について以下のように行います。

- ① 3日間ともに、対面とオンラインの併用とします。感染状況により、会場の人数制限を行うことがあります。対面希望の方は申し込み順としますので、早めに申し込みをお済ませください。
- ② 参加費は下記の通りとし、申し込みは下記のQRコードからできます(Google フォーム)。QRコードから申し込めない場合は、電話かFAX、または日本作文の会のHPからも申し込めます。
- ③ 口座に参加費の入金が確認されたあと、大会本部から入金確認と大会資料をメールで送付します。
- ④ 今夏の感染状況により、全てオンラインとすることもあります。その際は大会本部から申込者に事前に連絡いたします。日本作文の会のHPにもその旨を掲載いたします。
- ⑤ 8/8(月)の講座会場は、変更することがあります。その際も事前にお知らせします。

参加費 全日参加券 教職員 5000円 学生 2000円
退職教員、保護者、学童指導員 3000円
一日参加券 3000円

申し込み方法

参加を希望される方は、下記の日本作文の会のQRコードからの申し込みとなります。申し込みのフォーマットにご記入の上、送信してください。下記の口座に参加費の入金が確認された後、①受付確認、②オンライン配信用URLをメールでお送りします。
参加費入金口座 ゆうちょ銀行 口座名：日本作文の会
 ①ゆうちょ銀行からの入金 記号10100 番号14791651
 ②他銀行からの入金 支店名 ゼロイチハチ(〇一八) (普通預金) 番号1479165
 ※QRコードで申し込めない場合の申し込み先
 電話・FAXでの申し込み：渡辺登美江 TEL・fax 04-2991-6124
 日本作文の会 HP からの申し込み：http://nissaku.c.ooco.jp/



主催 日本作文の会 共催 大阪綴方の会 なにわ作文の会
 後援教育委員会 大阪府 大阪市 堺市 能勢町 豊能町 池田市 高槻市 島本町 枚方市 交野市 寝屋川市 門真市 四條畷市 大東市 東大阪市 柏原市 和泉市 高石市 貝塚市 田尻町 阪南市 岬町 藤井寺市 太子町 河南町 豊中市 摂津市 岸和田市 熊取町 泉佐野市 富田林市 羽曳野市 (申請中) 忠岡町 千早赤阪村 河内長野市 泉大津市 大阪狭山市

8 / 6 (土) 全体会 (堺市産業振興センター)

11:30	開場	
12:30	全体会アトラクション	<p>劇「綴ろうよ 日々の暮らしと明日への希望」</p> <p>コロナ禍にあって、悩みもがきながらも、作文を軸に子どもらと向き合い、そして寄り添おうとした教師たちがいた……。ある新任教師が、大阪の厳しい学校現場で作文教育に学びながら奮闘し成長する姿を描いた汗と涙の構成劇。コロナ禍の大阪の教育がリアルに描かれる。主題歌も大阪の青年教師が作曲。</p>
13:15	開会あいさつ	現地実行委員長
13:20	参加者のみなさんへ	日本作文の会常任委員長
13:45	読み合いの授業 (公開授業)	現地実行委員会
14:30	現地企画	<p>子どもたちが、日々の生活の中で心が動いたできごとを「自分の言葉」で表現した文には、生きる積極性と明るさ、たくましさがあります。今回の大会では「読んだ後の指導」として読み合いの授業を行います。自分の表現をありのまま受けとめてもらえる心地よさと安心感が、書く意欲を高めます。その高まりが、表現を育て、子ども自身を育てます。その経験が、友だち理解と人間理解につながっていきます。読み合いの時間を通して「書いてよかった!」「読み合えてよかった!」と、思えるあたたかい時間になりたいと思います。</p> <p>パネル討議</p> <p>「読み合いの授業を受けて」</p>
15:00	休憩	
15:15	記念講演	<p>内田 樹 さん</p> <p>「自分のヴォイスを見出す」</p> <p>東京都生まれ。フランス文学者、武道家、翻訳家、思想家。神戸女学院大学名誉教授。</p> <p>著書に『困難な成熟 (夜間飛行)』、『子どもは判ってくれない』、『ひとりでは生きられないのも芸のうち』(文春文庫)、『下流志向』(講談社文庫)、『街場の教育論』(ミシマ社)、『複雑化の教育論』(東洋館出版社) など多数。</p> <p>今目の前にいる子どもたちが生きていく、これからの社会について、幅広い知見と深い考察を語って頂く予定です!</p>
16:45	閉会 諸連絡	

8 / 7 (日) 分科会 (堺市立中百舌鳥小学校)

9:00	分科会開始		
	分科会名	内容	
①	子どもの生活と学級づくり	<ul style="list-style-type: none"> 子どもをめぐる現代的課題 作文を中心とした学級づくり 	
②	子どもの表現と学力	<ul style="list-style-type: none"> 書きことばの獲得の意味 学力の土台(教科・生活・総合)をつくる 豊かな書きことばと表現 	
③	困難を抱えた子どもたちのことばと表現	<ul style="list-style-type: none"> 生活や発達上の困難を抱えた子どもたちと作文教育(いじめ・虐待を含む) 	
④	特別支援教育におけることばと表現	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級・特別支援学校の実践 	
⑤	入門期(就学前・後)の教育とことば・表現	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの健やかな発達を願って 園児の発達とことばの獲得とその意味 就学前の子どもたちと学校(幼・保・小) 	
⑥	子どものことばと表現 (日記・作文教育)	1年	<ul style="list-style-type: none"> つぶやき・日記・作文の実践 その学年の特徴は何か
⑦		2年	<ul style="list-style-type: none"> 子どもをどうとらえるか
⑧		3年	<ul style="list-style-type: none"> 書きたくなる生活をどう耕すか
⑨		4年	<ul style="list-style-type: none"> 子どもは何をどう書いているか
⑩		5年	<ul style="list-style-type: none"> 作品をどう読んだらいいのかわかるか
⑪		6年	<ul style="list-style-type: none"> どう読み合い、何をどう育てるか 日記指導・文集づくりの実践 教科書の「書くこと」教材の扱い
⑫	子どもと詩の教育 (授業づくり)	低学年	<ul style="list-style-type: none"> 詩のある教室と子どもたち
⑬		高学年	<ul style="list-style-type: none"> つぶやき・詩の実践 書く・読み合いの授業
⑭	中学・高校・青年のことばと表現	<ul style="list-style-type: none"> 中学・高校・青年期における綴ることの意味 作品をどう読むか 	
⑮	平和・いのちの学習と 子どものことば・表現	<ul style="list-style-type: none"> 戦争と平和をどう学ぶか いのちの学習と人間の尊厳を育てる作文教育 	
⑯	生活綴方の理論と歴史	<ul style="list-style-type: none"> 生活綴方を深めるための理論を探る 綴方に関わる歴史と証言 綴方サークルの歴史と整理 	
⑰	作文の授業づくり	低学年	<ul style="list-style-type: none"> 作文の授業の実際
⑱		高学年	<ul style="list-style-type: none"> 書く前・書くとき・書いた後(読み合い)
⑲	放課後・地域の子どもの生活 (学童保育と家庭と学校)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの居場所づくり 学童保育の現場から子どもをどう見る 作文から見える子どもたちの放課後・休日 	
16:30	分科会終了		

会場地図



【堺市産業振興センター】

住所：大阪府堺市北区長曾根町 183 - 5
 最寄り駅：なかもず駅 8 番出口 (Osaka Metro) より約 300m
 中百舌鳥駅北出口 (南海高野線) より約 300m

会場案内

【堺市立中百舌鳥小学校】

住所：大阪府堺市北区中百舌鳥町 6 - 1033 - 2
 最寄り駅：白鷺駅 (南海高野線) より約 900m
 なかもず駅 (Osaka Metro) より約 800m

※どちらの会場も公共交通機関のご利用をお願い致します